

ぽかぽか 秋号

三川町公民館図書室だより

2023.10.1



10月27日～11月9日まで
第77回 読書週間です♪

今年のテーマは『私のペースでしおりは進む』です。

「本を読むと若くなる」といわれています。読書が心の健康と頭の体操になるからです。「本を読むと美しくなる」ともいわれています。すぐれた本と一緒に呼吸し、心を豊かに働かせているからです。秋の夜長にじっくり読める、話題の本をそろえましたので、ぜひご利用ください。

新着作品のご案内



『あわのまにまに』
吉川トリコ：著



『方舟』
夕木春央：著



『覇王の轍』
相場英雄：著



『修羅 奔る夜』
伊東潤：著



『ええじゃないか』
谷津矢車：著



『付き添うひと』
岩井圭也：著



『居酒屋ぼったくりおかわり! 3』
秋川滝美：著



『ひとり旅日和』
和福招き！
秋川滝美：著



『ママがもうこの世界にいてもなくても』
遠藤和：著



『脈動』
今野敏：著



『香港警察東京分室』
月村了衛：著



『能面検事の死闘』
中山七里：著



『悪魔のコーラス』
モモコグミ
カンパニー：著



『鷹の惑い』
堂場瞬一：著



『いつまで』
畠中恵：著



『校庭の迷える大人たち』
大石大：著



『八月の御所グラウンド』
万城目学：著



『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』
坂本龍一：著



『木挽き町のあだ討』
永井紗耶子：著



『VISION 夢を叶える逆算思考』
三苜薫：著



『無人島のふたり』
山本文雄：著



『雪の街 家庭調査官・庵原かのん』
乃南アサ：著



『墨のゆらめき』
三浦しをん：著



『むかしむかしあるところに、死体があってもめでたしめでたし』
青柳碧人：著



親子でじっくり読める♪
新着えほん&児童書



『しごとへの道①』
鈴木のりたけ：作

「しごとば」シリーズから、新シリーズ読む「しごとば」が登場！迷って、悩んで、失敗して、自分のしごとをみつけるまでを、コマ割りのコミック仕立てで描いたリアルヒストリー。人生を変える言葉や人との出会いを、子ども時代から取材。しごとへの道はひとつじゃない！パン職人・新幹線運転士・研究者の3職業を収録。192ページと充実の読み応え！



『うろおぼえ一家のきゅうじつ』
出口かずみ：作



『とおくのしんせきよりちかくのねこ』
広瀬克也：作



『おばけのこままわしたいかい』
西平あかね：作



『ねこがたいやきたべちゃった』
円城塔：作



『ねこのゆめ』
荒井良二：作



『そらまめくんのありがとう』
なかやみわ：作

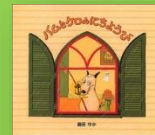


『やっぱり・しごとば』
鈴木のりたけ：作



『どうぶつダジャレース』
バンビクリエイツスタジオ：作

人気作家『島田ゆか』のロングセラー絵本『バムとケロ』&『ガラゴ』シリーズを通常サイズと小型サイズでそろえました！



『にちょうび』



『そらのたび』



『さむいあさ』



『おかいもの』



『もりのこや』



『かばんうりのガラゴ』



『うちにかえたガラゴ』

『ガリレオ vs. メタルの魔術師—ガリレオの事件簿』
東野圭吾：著



「ガリレオ」シリーズ、ジュニア版の最新刊！第三弾は、湯川学が「人の心」の謎に迫る。

【第一章 操縦る（あやつる）】湯川の恩師が、殺人事件の容疑者に。ガリレオにだけ見えていた凶器とは。【第二章 曲球る（まがる）】活躍できなくなった野球選手を、ガリレオが科学の力で復活させる！？【第三章 幻惑す（まどわす）】教団を裏切った男がいた。離れた場所にいた教祖が念を送ると、男は窓から飛び降りて死んだ。これは殺人なのか？どれから読んでも面白い！三篇の科学トリックミステリーを収録。



『しましまぐるぐるたいそう』
若吉浩二：監修



『アニマルバスとほしまつり』
あさのますみ：作



『ともだちしょうかいしょうかい』
Tupera tupera：作



『こちょこちょあはは』
ひらぎみつえ：作